

きよたまちづくり区民会議通信

第 3 号

発行元 きよたまちづくり区民会議 (事務局：清田区市民部地域振興課)

〒004-8612 札幌市清田区平岡 1 条 1 丁目 電話 011-889-2400

きよたまちづくり区民会議では、平成 24 年度も「防災」をテーマに活動を進めていきます。

区民会議では、各家庭や地域で災害に対する備えが十分になされる状態を目指しており、様々な働きかけを行うため、平成 23 年度は、清田区の防災意識の実態を把握し、防災の取組について啓発を始めたところです。平成 24 年度は、より実践的な取組内容を検討していきます。

区民会議が目指す目標像

- ① 各家庭で家具の転倒防止対策、非常持ち出し品の準備などが行われている状態。
- ② 各家庭で、家族の役割分担、連絡方法や集合場所の確認などを話し合う「家族防災会議」が行われている状態。
- ③ 単町レベル・地区レベルで防災訓練や避難訓練などが行われ、事前の備えの大切さについて意識が高まっている状態。
- ④ 各地区で、災害時要援護者支援のような、地域で支え合う体制づくりが進められている状態。
- ⑤ 地区単位や区単位で、災害が発生した際の体制などについて継続的に話し合わせ、情報が共有されている状態。

平成23年度の取組状況

●きよたまちづくり区民会議通信の創刊

検討テーマ「防災」に関する取組状況を中心に、区民会議の活動を周知。

●清田区民フォーラムの開催 (11月4日)

阪神・淡路大震災の体験談をとおして、日頃の災害への備えの重要性を学ぶ。

●防災アンケートの実施 (8月、清田区の町内会、一般世帯を対象に実施)

目的：各家庭や地域へどのような働きかけを行うか検討するため。

結果：防災への関心は高く、回収率は町内会 100%、一般世帯 65%。

実態：防災対策をしている家庭はおよそ 3 割など、災害への備えは十分とはいえない状態。

各家庭や町内会へ防災の取組を働きかけていくため、



防災に関するパンフレットを発行しました

『わが家の防災計画～自分の身は自分で守る～』

家庭での最低限の備えや、災害時の行動、避難場所を確認するためのマップなどを掲載しています。各項目をチェックしながら、災害への備えを確認し、「わが家の防災計画」づくりに役立てていただければ幸いです。



「地域の力～進めよう! 清田の防災～」

防災アンケートの結果や、アンケートで詳しく知りたいとされた防災対策の内容、地域における防災活動、災害時に果たす地域の役割の重要性などについて掲載しています。家庭や地域で今後の防災の取組の参考にさせていただければ幸いです。

清田区地域振興課やまちづくりセンターで配布しているほか、ホームページでも内容をご覧ください。

http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin_kaigi/index.html

▼ 1/31 区民会議の様子



きよたまちづくり区民会議(23年度第3回)を開催

1月31日、平成23年度第3回の区民会議を開催しました。会議では、防災パンフレットの作成状況や、平成24年度の検討テーマについて話し合い、引き続き「防災」をテーマに取り組んでいくことを確認しました。

また、グループディスカッションを実施し、防災アンケートから見てきた課題認識や感想、平成24年度の実践についての方向性や具体的なアイデア、各地区・団体で取り組んでいることなど、防災に関することについて自由に意見発表を行いました。

グループディスカッションで出た意見 (抜粋)

- ・各家庭での防災への自助努力を促す取組が重要だ。
 - ・防災訓練の参加を促すために町内会の啓発活動が続けるべき。
 - ・学校での防災訓練に保護者や地域も参加してはどうか。
 - ・災害時の対応を学校と保護者で確認しておくべき。
 - ・防災クイズなどで防災意識のレベルアップを図ってはどうか。
 - ・避難場所運営の実態を知ってもらうことが重要だ。
 - ・災害時に助けが必要な高齢者、障がい者を地域でどのように支援していくか。個人情報把握など多くの課題がある。
 - ・防災に関する体験などを地域で情報共有するしくみが必要だ。
- など

▼ 3/23 区民会議の様子



◀ 平岡町連
中川副会長
から発表

きよたまちづくり区民会議(23年度第4回)を開催

3月23日、第4回の区民会議を開催し、前回会議での意見などを踏まえ、平成24年度の実践的な取組について検討しました。避難場所や備蓄物資について多くの委員から質問があり、実際に避難場所を確認してみるような訓練が重要ではないかなどの意見がありました。

また、平岡地区町内会連合会が2月11日に平岡小学校で実施した「冬の地震避難体験訓練」について、同町連副会長の中川昇氏にお越しいただき、開催経緯や結果について発表いただきました。当日は救助、搬出などの訓練を行ったほか、避難場所となる学校に実際に宿泊。体育館は最低-1℃まで下がり、夜間は1時間おきに目が覚め、寝袋、毛布、カイロをもってしても十分に就寝できなかったことなど、厳しい体験談について、情報共有を図りました。